

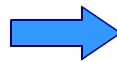


南房総の風

子どもたちの「わかった!」「できた!」「またやりたい!」のために… ～特別支援教育の視点を生かした教室環境・授業づくり～

通常の学級でも、特別支援教育の視点を生かした、どの子どもも生活しやすい環境づくりや「わかる」「できる」授業作りの取組がすすんでいます。「特別な支援が必要な子にとっての支援は、どの子にとっても有効な支援」という視点から、工夫の見られた取組のいくつかを紹介します。

教室環境

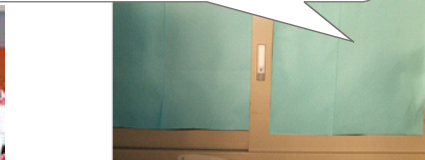


黒板周りはすっきりさせて
集中カアップ!

ロッカーや棚には目隠し
目から入る刺激を少なく



道具や提出物の
置き場所が
決まっていると安心
「できる」が増える!



片付ける場所を
目で見て
わかりやすく



声のものさしで
見えない「声」を「見える化」
「0」は声のない
静かな状態を確認

授業づくり



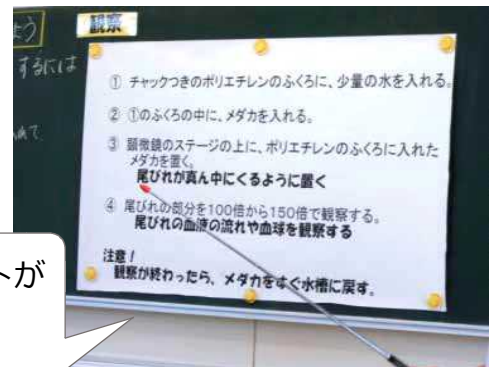
指示の仕方の工夫
言葉だけより
目で見てわかる！

短い言葉で
わかりやすく！



授業の流れを提示
今やっていることを
矢印で示すと
さらにわかりやすい！

活動の手順やポイントが
掲示されていて
確認しやすい！



はじめに
上手な発表の仕方の
見本を示すことで…



発表の仕方がわかった！
枠の中に立ってから…

自信をもって
発表できた！
またやってみたい！

発表の時の立つ位置を
線で囲んでわかりやすく

個への支援



自分の気持ちと解決策

机に貼っておくことで
自分の気持ちを見つめ
どうしたらよいか
考えられるように
なりました



気持ちのものさし

自分の気持ちを伝えるツールとして使うことで
怒りをぶつけることが少なくなりました